

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 広島市立古田中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒733-0874
広島市西区古江西町 27 番—1 号

E-mail： huruta-j@e.city.hiroshima.jp

Website：<http://cms.edu.city.hiroshima.jp/weblog/index.php?id=j1043>

児童生徒数 男子 430 名 女子 435 名 合計 865 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

平和学習・国際理解

本校では総合的な学習の時間に「平和」を軸にした取り組みを行っている。

1 目標

「平和」をテーマとした横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、国際社会における様々な問題と自らの日常生活や身近な社会を結びつけて課題を見つけ出し、よりよく解決する資質や能力を養うとともに、主体的、協同的に取り組む態度を身に付け、自己の生き方を考えることができるようにする。

2 活動内容

①国際理解・平和学習

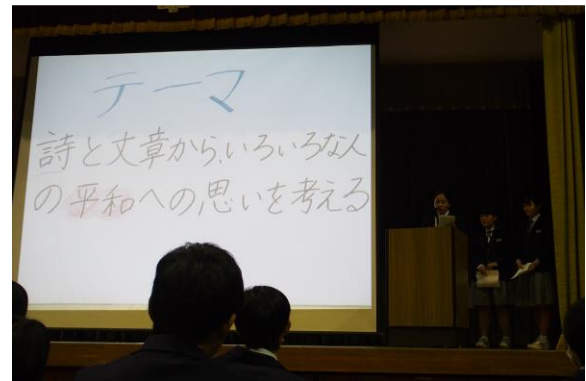
本校の国際理解・平和学習では、1年生の「ヒロシマ」から3年生の「世界の平和」へと繋げる流れで計画を立て、生徒の主体性を大切にしながら学習をすすめている。表1は目標・時間数を表している。

表1 3年間の計画

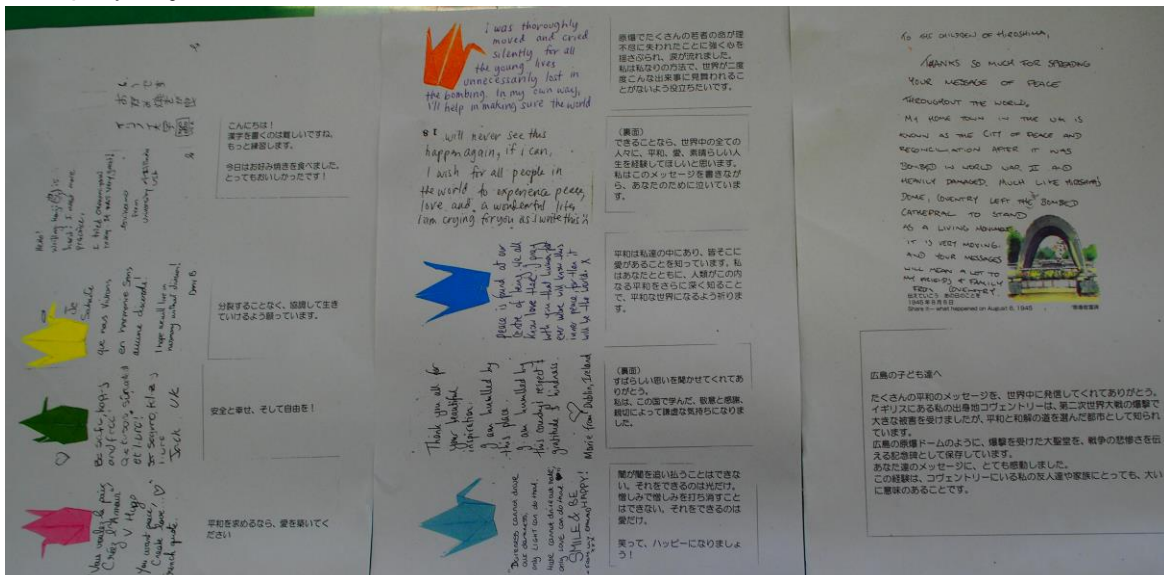
	学年ごとの目標	内容	時間数
3学年	【世界の平和を考える】 ○国際社会の平和に関わる問題を自分の日常生活と関連づけて課題を見つけ、解決するための方法を考え、その考えを発信することで、世界の平和について深く考える力を育てる。	・教科から考える世界の平和についての発表会 ・ヒロシマを訪れる観光客との平和メッセージ交換	12時間
2学年	【日本の平和を考える】 ○ヒロシマ・ナガサキや日本の平和について自分の日常生活と関連づけて課題を見つけ、解決するための方法を考え、発信し、討議・議論を行うことで、日本の平和について深く考える力を育てる。	・長崎フィールドワーク（修学旅行） ・長崎の高校生と平和交流	10時間
1学年	【ヒロシマの平和を考える】 ○ヒロシマの平和について自分の日常生活と関連づけて課題を見つけ、解決するための方法を考え、発信することで、ヒロシマの平和について深く考える力を育てる。	・平和公園フィールドワーク ・平和集会	15時間

3 活動の様子（3年生）

1年生ではヒロシマの平和・2年生では日本の平和について学習してきた。3年生では、教科から考える世界の平和をテーマに9つの教科に分かれ、それぞれの教科から平和について考え、問題点や解決策などをグループで協議し、スライドにまとめ発表をした。



また、ヒロシマに住む中学生とヒロシマを訪れる観光客が平和へのメッセージを交換することにより、平和への思いを共有し、平和の循環を図ることを目的とし、生徒が書いた折鶴付きの平和へのメッセージカードをピースホテルネットワーク宿泊施設に滞在する観光客に贈り、そのメッセージに対する返信を記入してもらい取り組みを行った。それにより、世界各国のひととのつながりを感じることが出来た。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）